

中国における「池田思想」研究の動向（16）

高橋 強・堀口 真吾

1. 池田思想研究の学術シンポジウム等

（1）第13回「池田大作平和思想研究国際フォーラム」

2019年2月27日、台湾台北市の中国文化大学にて、大学・機関の学者27名、学生約400名が参加し、「平和・文化・教育——平和な時代に向かって」というテーマのもと、上記フォーラム（同大学「池田大作研究センター」主催）が開催された。同フォーラムでは、19大学から27名の学者が論文を発表した。なお本フォーラムは「SGI提言」研究の意味合いも込められていたので、ここでは劉焜輝「SGI提言から池田大作の核心的理念を探求する」を簡単に紹介する。

SGIは1975年1月26日に設立され、仏法を基調として平和、文化、教育活動を展開している。池田大作氏はSGI会長として1983年以来毎年SGI提言を発表し、国際情勢に対し精緻な分析を行い、平和、文化、教育領域の諸問題を提起し解決の方途を示し、各国の指導者、文化人、学者及び多くの人々から注目を集めている。SGI提言から池田氏の核心的理念を探求すると、以下の5つの主題に分けられる（第3、第4点の一つに整理できるので5点とした）。（1）人間主義の重視。人道主義、平和主義、文化主義をコミュニティーの指針とし、新時代を拓く3つの方途、①良き市民として、所属国家の文化や法律を尊重し、②生命尊厳を根底とし文化教育の発展を促進し、③戦争等の全ての暴力を否定し、人類や世界の繁栄を活動の基礎とする。（2）世界平和の重視、①平和社会理念を共有し、②人間を中心とする多国間主義を推進し、③青年の参与による多元化を促進する。（3）人権、人道、共生世界の重視、①人権教育の国連組織を専門的に推進し、②コミュニティーの連帯を教化し、青年を対象とした人権教育を推進し、③宗教間対話を推進する。（4）生命尊厳の尊重、①人道主義援助と人権、②環境と災害リスク軽減、③宗教間対話の推進。（5）地球環境への危機感、①運命共同体の観念、②人間と生態系の調和、③人類文化、社会文化の人間＝環境という基礎の上での樹立。

以下、「会議日程」に基づき、分科会での発表論文のテーマを紹介する（以下敬称略）。

Tsuyoshi Takahashi（創価大学文学部教授）

Shingo Horiguchi（創価教育研究所係長）

午前中に基調講演が行われ、午後に以下の分科会が開催された。

平和主義セッション

劉廷揚「闘争と混乱の時代の救済——池田大作の平和思想と対話理念の時代的意義」（高雄師範大学）

唐彦博「池田大作の国家指導者の思想と視点の解明」（台北海洋技術学院）

鄭子真「東北アジアの平和展望と戦略—台日の相互の影響を主として—」（中国文化大学）

高橋強「『人間革命』思想と池田大作の『4大主義』」（創価大学）

賈凱「『平和と共生の地球社会』を建設する思想と人類運命共同体構想の比較研究——『SGIの日』記念平和提言に基づいて」（厦門大学）

林炫向「『恒久平和』は可能なのか。1人の仏教徒の現在の中米関係と世界平和への思索」（中国文化大学）

文化主義セッション

陳鵬仁「池田大作と世界著名人との対話録（3）」（中国文化大学）

河瑛愛「趙永植と池田大作の芸術への精通と実践」（韓国・慶熙大学）

周健「人類史における『多数派』(Majority)と『少数派』(Minority)の合従連衡を論ずる」（中国文化大学）

劉焜輝「SGI提言から池田大作の核心理念を探求する」（中国文化大学）

何佳玲「高齢者の人権擁護と生命の価値創造」（淡江大学）

邱秀清「池田大作の環境保護観から企業の株主権利構造と企業の社会的責任を語る」（中国文化大学）

人権セッション

Mark Graveson「ISLAMIC ART AND ARCHITECTURE」（中国文化大学）

蔡明發「『立正安国論』と『阿Q正伝』の国民精神喚起における比較と影響」（明新科技大学）

陳勁廷「『バプテスト牧師の仏法の師匠』読後感」（東華大学）

林彩梅「池田大作教育観——大学教育者の倫理教育の使命」（中国文化大学）

林欣美「台湾の長期ケア施設の消費者には何が必要か？」（建国科技大学）

吳安妮「池田大作先生の哲学思想の非営利団体の運営実績に対する影響」（国立政治大学）

教育主義セッション

劉軍「創価大学グローバル化の中国諸大学に対する啓発」（湖北大学）

吳世全「『人間』を核心的価値とした世界的デザイン都市」（中原大学）

林少顛「人道的競争の時代へ—創価の人間主義を以て第4次産業革命へ繋ぐ」

(虎尾科技大学)

呉雪虹「漱石文学の精神的願望」(高雄市立空中大学)

林瑞明「池田大作『SGIの日』記念平和提言の語彙関連性の分析」(亜東技術学院)

黄麗鴻「子供に明るい未来を—『地球対談—輝く女性の世紀へ』から」(雲林科技大学)

人間主義セッション

周建亨「平和共生の意義と実践について」(中国文化大学)

林延璘「池田の人道主義精神から現在の教育、社会と環境の危機を語る」

(徳明財經科技大学)

黄大璋「池田大作の人間教育理念が輝かしい未来を創造する」(台北城市科技大学)

(2) 2019「廖承志・池田大作思想学術シンポジウム」

2019年5月17日から19日にかけて、中国広州市の仲愷農業工程学院にて、上記学術シンポジウム(同学院、広東社会科学学院、創価大学主催)が開催され、「新時代の中日友好に向かって」のテーマのもと、大学・機関の約50名の研究者と同学院の学生が参加した。寄せられた論文は29本であった。4名の研究者による基調報告がなされた後、各研究者の論文発表及びその講評に移った。ここでは同学院「廖承志・池田大作研究センター」主任高岳倫教授の「廖承志と池田大作の民間外交の特徴、融和と啓発」の内容を簡潔に紹介する。

廖承志、池田大作の民間外交は、「人民外交」や「人間外交」にその特徴があり、アジアと世界の平和を守り、中日両国の国交正常化実現、平和友好条約締結、青年友好交流推進等の促進において大きな成果を得た。両者は時間の経過の上では前後はあるが、平和友好の使命を担うということでは違いは無く、自然に関連し合い、完全に融合し、効果は顕著であった。また両者の民間外交上での共通した示唆は以下の5点である。1、中日友好関係の基底は民間にある。2、対話と交流は平和友好が必ず経由する道である。3、平和友好を堅持することは両国政府の道義から言って辞退できない歴史的に担うべきものである。4、青年友好交流を展開してはじめて世代友好の新しい章を描くことができる。

発表者とテーマは以下の通りである(発表順)。

蔡瑞燕「(1) 具体的な文化交流による日中友好の促進—仲愷農業工程学院での池田大作写真展を例として」

「(2) 廖承志の新中国を視野にした中日友好思想を論ずる」(仲愷農業工程学院)

劉佳寧「中日の持続可能な協力、発展を背景とした広東省発展の新たな機会」(広東省社会科学学院)

小山内優「『教育のための社会』に関する創立者池田先生の提唱とその背景」(創価大学)

黄順力「『国家間の交わりは、民衆同士の親善友好にあり』——池田大作の『民間外交』思想再考」(厦門大学)

高岳倫「廖承志と池田大作の民間外交の特徴、融和と啓発」(仲愷農業工程学院)

高橋強「池田大作の日中友好実践と『4つの主義』」(創価大学)

何嘉瑜「人類運命共同体視野の下の中日関係」(湖南大学)

曲鴻亮「『国家間の交わりは、民衆同士の親善友好にあり』——民間交流を進展させ日中友好を促進」(福建省社会科学学院)

文娟「廖承志、池田大作と中日関係」(仲愷農業工程学院)

蔣菊「廖承志、池田大作の青年時代から現代の青年を見る」(肇慶学院)

劉斌「中日友好往來の時代を開く——廖承志と在華日本人帰国交渉の関連事件の考察」(仲愷農業工程学院)

張穎「廖承志のマルクス主義青年観の淵源とその含意」(仲愷農業工程学院)

王愛英「廖承志と新中国青年への対処を考える」(仲愷農業工程学院)

李增添「廖承志の青年に対する平和教育思想に関する考察」(仲愷農業工程学院)

呉祖春「廖仲愷の自らを鼓舞する青年観」(仲愷農業工程学院)

魏明超「廖承志の民間外交思想と現代価値論の概要」(仲愷農業工程学院)

徐満澤「廖承志の民間外交思想の基本的特徴の初歩的研究」(仲愷農業工程学院)

李鋒「池田大作民間外交思想の中日友好関係構築における意義と実践を論ずる」(佛山科学技術学院)

金凱「池田大作文明観から見る『運命共同』と『米国優先』の深刻な差異」(広東省社会科学学院)

葉芳「中日調和の歴史的記憶の範囲を論ずる」(仲愷農業工程学院)

李立棕「新時代の日中友好に向かって」(仲愷農業工程学院)

陳曉庭「周榕観桜会から中日友好を語る」(仲愷農業工程学院)

張春燕「池田大作の日中友好思想」(仲愷農業工程学院)

松永源二郎「中国の日本語教科書から中日友好と関連問題を探求する」(深圳大学)

劉建栄「青年の奮闘意識の育成を論ずる——池田大作思想研究を兼ねて」(湖南師範大学)

官建生「池田大作の青年教育思想とその現実的啓発を論ずる」(韶関学院)

(3) その他(学部生、院生等のシンポジウム)

① 2019年11月23日、台湾台北市の中国文化大学にて、同大学「池田大作研究センター」主催の第7回「青年フォーラム」が「21世紀の青年—平和、文化及び教育」と題して行われた。

これには11の大学から約200名が参加した。発表論文は16本であった。以下、分科会順に発表者とテーマを紹介する。

〔第1分科会〕

李晏安「平和共生管理倫理の実践について」(中国文化大学)

廖佳恩「Better leadership better world: 平和文化の精神から女性のリーダーシップの価値を考える」(輔仁大学)

王文彬「世界平和への影響を探る: 池田大作、トインビーと孔孟思想の視点から」(国立中山大学)

〔第2分科会〕

陳佳好「私は私! 池田大作の人間主義思想で性別二元的枠組みを克服する」(台湾師範大学)

林明「音楽と平和——池田大作とカザルスの成長の軌跡」(東呉大学)

〔第3分科会〕

謝旻家「池田大作の人間主義思想から女性と職場での友好についての探求」(中国文化大学)

賴福明「世界経済変遷論 ESGの多国籍企業の持続可能な運営に対する対応」(中国文化大学)

黃靖媛「池田大作思想の音楽文化への影響」(実践大学)

〔第4分科会〕

何愉婷、涂馨元「目的地イメージと計画行動理論を用いて、大学生の学外インタビュー或いはインターンシップへの参加行動意向を調査する」(中国文化大学)

張綺方「池田大作思想とカウンセリングの呼応」(国立台南大学)

林偉廷「池田大作の人間主義思想を以て、台湾の理学療法領域における医学と病気の関係を探求する」(長庚大学)

〔第5分科会〕

蔡永聿「池田大作の人間主義思想から人工知能の社会問題を探求する」(国立中央大学)

王文傑「持続可能エネルギーと人間主義の関係」(台北科技大学)

〔第6分科会〕

楊易軒「池田大作の人間主義思想を以て医療技術者が直面している貧困国の疾病問題を探求する」(台湾大学)

許朝揚「池田大作人間主義思想の企業の社会的責任と企業文化における実践」(中国文化大学)

2. 新設の池田大作研究機関

浙江越秀外国語学院「周恩来・池田大作研究センター」（2019年6月2日設立）

主任：王宗傑教授、副主任：黃逸博士

設立趣旨：周恩来総理と池田大作氏の友誼、平和理念、教育理念に関する研究を通し、新世紀の中日友好事業の発展と調和のとれた世界の構築を促進する。具体的には①勉強会と小規模なシンポジウムの開催を通して、具体的なテーマでの交流・研究を行い、②大規模なシンポジウムと国際シンポジウムを通して、国内の関連研究機構との交流を強化し、国内外の専門家との相互作用を強め、視野を広げ研究水準を高める。

大連海事大学「池田大作研究センター」（2019年7月4日設立）

主任：洪剛副教授

設立趣旨：これまで国際文化に対する理解力向上および平和教育、人文教育を重視し、学生の“ポジティブエネルギー”を高めてきた。この本学の教育理念と池田大作氏が提唱する教育理念は一致している。本研究センターは、①修士、博士などの高レベルの研究者を育成しながら、創価大学をはじめ諸外国の大学との交流を行い、学術の国際的レベルと国際的視野を強化していくことを目指す。②池田大作氏の哲学、教育、平和思想について、多面的な研究交流を行い、本校の教育と科学研究の質を向上させ、責任感、未来のビジョン、能力を備えた新時代の複合的人材を養成する。③中日文化交流の架け橋となり、日中両国の民間レベルでの相互理解と友好を深めていく。

厦門大学「池田大作思想研究センター」（2019年7月16日設立）

主任：張艷濤教授

設立趣旨：厦門大学の人文学院、マルクス主義学院、外国語学院の一部教員は長年池田思想研究に取り組み、国内外の研究者から注目を集め、池田大作思想研究領域は一定の基礎を築いたので、学術研究の更なる深化を図るために正式に研究センターを設立した。このセンターを一つの土台として、①グローバル人材を育成する為の教員学生の日本研修交流を推進し、②厦門大学の池田大作思想、世界平和、人類運命共同体等に関する研究を推進し、③学術シンポジウムの開催、研究プロジェクトの申請、学術著作の相互翻訳等を通して厦門大学の国際的な影響力を拡大して行く。

河北大学「池田大作研究所」（2019年10月17日設立）

所長：裴桂芬教授

設立趣旨：池田大作研究所は、経済学院と日本研究センターの下部機構として、本学の日本研究のプラットフォームとして機能し、学内外との研究交流という重要な任務を引き受ける。主な研究の方向は、池田大作氏の教育思想、文学思想、哲学思想、平和思想、国際交流に関する研究で

ある。

長春師範大学「池田大作文化研究所」(2019年11月7日設立)

所長：張曉剛教授

設立趣旨：池田大作氏の文化思想、平和教育理念の研究を通し、本学の教育と研究事業を更に発展させると同時に、中日の教育文化交流および相互理解を促進する。

3. 池田研究の成果等

陶金『会通与互鑑—池田大作文明対話思想研究』(社会科学文献出版社 2019年6月)が発刊された。

なお、日中友好学術研究助成プログラムで、「中日関係正常化と池田大作調和哲学思想」「池田大作の生態観思想が日本生活ゴミの分類処理に与える影響」「池田大作世界平和思想と伝統思想の和合思想の比較研究」が日本滞在研究助成として採択された。